

## 1：今年度の iPad の活用目標と活用状況

### ① 活用目標

- ・ iPad をこわがらずにさわり、必要な場面で操作できるようになる。
- ・ 学習時や、休み時間等、目的に合わせて活用できるようになる。
- ・ 適したアプリを使い、ひらがな、漢字、計算、音読の力をのばす。

### ② 活用状況

2年女児は、算数のたし算、ひき算はすすんでできていました。触る楽しみは、大いにあるので、ほかの学習をがんばったご褒美に使わせることもあります。操作はどんどん上達し、インストールしたばかりの新しいものも、こわがらずにさわっていました。絵本を聞きながら見るのも大好きです。

5年男児（自・情緒）は2学期になり、少し触れるようになりました。動く動物図鑑は興味を持って見ましたので、これからいろいろとさぐって、できるものを探そうと思います。

5年男児（知的）は主に計算の学習に使っています。動くものや声を入れるものなど楽しく触っています。計算の学習では、慣れてきて上手に使っています。

かわいい動物ぬりえをしています。2年女児



## 2：現在活用している主なアプリケーション

- ・筆談パット
- ・漢字筆順練習
- ・クマとタンポポ for iPad
- ・いないいないばあ
- ・大下博士の熱中算数 1年生
- ・大下博士の熱中算数 2年生
- ・動く！動物図鑑
- ・かわいい動物ぬりえ Lite
- ・黒板
- ・Pocket Pond HD
- ・おしゃべり鳥のラリー
- ・ひらがななぞり
- ・どうぶつかくれんぼ

筆談パットは、しりとりをするときに使っています。音声で伝えるとともに文字で視覚でも表し、最後の文字に丸をして意識させました。難聴学級の友だちと、自閉症・情緒学級の5人でした。難聴学級の児童には、発音を意識させ聞き取りにくい言葉も書くことで伝わりました。自閉症・情緒学級にはひらがなを書く学習にもなりました。

ひらがななぞりは、自分の名前をなぞって書く練習をしました。はなまるをしてくれるので喜んでできました。書き順をまちがうと、ぶつぶー、というので考えて書きました。

おしゃべり鳥のラリーは、言った言葉を録音して繰り返してくれるので、はっきりとしゃべる練習になります。

クマとたんぽぽは、お話を読みあげてくれます。読んでいる間は文字を見て、終わるといろいろなところをタッチします。いろいろなものが飛び出してきたり動いたりして楽しいです。

かわいい動物ぬりえは、リスやこじか、コアラ、オオカミの絵がぬりえになっていて、色を選んでゆびでぬれるようになっていて、楽しくぬれる。まちがっても消しゴムにすれば、消せるのがよい。

どうぶつかくれんぼは、部分を見せて、何の動物か考えることができる。半分かくれたり、窓で少し見えたりする。